



学校だより

令和3年4月30日

5月号

学校教育目標
～生き生き日枝っ子～

横浜市立日枝小学校

「どの子ども幸せになる空間をつくる」



校長 住田 昌治

「学校生活の中で一番静かな時間は、いつだと思いますか？」

昨年6月の学校再開後、学校生活は大きく変わり、多くの制約の中で子ども達は生活しています。そして、しっかり感染症予防をし、我慢を強いられても文句ひとつ言わず生活しています。1年生は、小学校生活の始まりがコロナ禍での学校生活ですから、今の学校生活がスタンダードとなっています。子ども達は、すっかり慣れてしまっているようですが、見ていると寂しい気持ちになってしまいます。それで、一番静かな時間ですが、「給食の時間」なんです。給食の時間に校舎内を回ってみると、教室に子ども達がいらないのではないかと思うほどの静かさです。どの学年も、みんな前を向いて黙々と食べています。話をする子は一人もいません。給食の時間と言えば、グループになって、楽しそうに会話しながら食べている姿が日常でした。おしゃべりし過ぎて、食べる時間が足りなくなってしまう子もいました。それが昨年からは一変して、静寂の時間となっているのです。

さて、学校、特に長く過ごす学級が、どの子にとっても幸せな空間になっているのか？一番大切な問いをもって教職員が話し合い、2021年度のスタートを切っています。教職員一人一人がお互いに自分の考えを出し合い、子ども達が幸せな空間の中で生活し、学ぶことができるように心がけ、環境づくりをしています。また、学校教育目標「生き生き日枝っ子」についても、昨年度までのイメージ図を見直し、新たなイメージ図を作成し、教職員で話し合い、子ども達にも朝会で前園先生に説明してもらいました。子ども達も、「幸せな空間づくり」や「生き生き日枝っ子」の実現に向けて取り組むことを話しているところです。これからは、大人が全てを準備し、お膳立てするのではなく、子ども自身が自分のこととして考え、判断し、決めて、行動していくことが望ましいのです。

さらに、子どもが幸せな空間を創るためには、まず、それを支える大人が幸せでなければなりません。学校においては、教職員が幸せに働いていることが欠かせません。教職員が幸せに働けるように、教職員一人一人が元気で働き続けられるように、働き方の見直しも続けていきます。(ちなみに、教員の勤務時間は、8時15分から16時45分です。時間外勤務手当はありません)

そして、今年度から一新した保護者の会「日枝っ子友の会」で「いねーたー」が企画する事業に、できる範囲で参加していただき、元気に楽しく活動していただくことも子ども達の幸せな空間を創ることに繋がります。みんなで幸せな空間を創っていきましょう。

学校教育目標「生き生き日枝っ子」のイメージ図

